

# いのちを潤<sup>うるお</sup>す神様のみことば

山里 将之

みなさん、こんにちは！  
貝塚聖書教会の山里将之です。

春。旅立ちの季節。進学や就職の季節ですね。私の長女も地元の中学校を卒業し、4月からは大阪市内の高校に通学します。新しい営みに取り組み始める皆様の祝福を心から願い、お祈り致します。

3月20日、春分の日のお休み、思い切って遠出し、和歌山県、那智の大滝を見てきました。妻と二人の娘は上京中。気ままな一人旅。3時間ほどの山道をドライブ。龍神温泉村の手前を横切り、歴史に名高い熊野古道を抜けて、熊野川の雄大な景色を眺めながら新宮市へ。天気に恵まれていた事もあって、この日見た景色は「神様からのプレゼントだなあ」「神様、今日は本当にありがとうございます」と、思いがけずひとり言。上京中の女性陣には申し訳ないのですが、悠久の時間を感じさせられる数々の光景をひとり占めさせて頂きました。

そして、那智の大滝へ。息を呑むばかりの絶景！  
133mの落差。毎秒1トンと言われる瀑声の轟きと幻想的な水しぶき。この水によって潤され、育まれる周りの木々とそこに宿る鳥や動物たち。水を媒介としたいのちの循環を垣間見た気がしました。



神様の恵みも、こんな感じ・・・いや、むしろもっと果てしなく大きい！ 水でさえ、神様が備えて下さる数々の恵みのひとつでしかありません。水は肉体的な生命を潤してくれます。神様のみことばはいのちそのもの、存在そのものを潤してくれるのです。

<sup>10</sup> 雨や雪は、天から降って、もとに戻らず、地を潤して物を生えさせ、芽を出させて、種蒔く人に種を与え、食べる人にパンを与える。

<sup>11</sup> そのように、わたしの口から出るわたしのことばも、わたしのところに、空しく帰って来ることはない。

それは、わたしが望むことを成し遂げ、わたしが言い送ったことを成功させる。

イザヤ書 55 章 10-11 節、聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

神様のみことばによって潤されて、新しい営みに旅立つ皆さんの取り組みが恵み豊かなものとなりますように！